２０２６年（令和８年）７月２１日　火曜日

デーリー東北　１０面　掲載

第108回全国高校野球選手権青森大会

あす決勝 青森山田VS聖愛

第9日

第108回全国高校野球選手権青森大会第９日は20日、弘前はるか夢球場で準決勝２試合を行った。八学光星は弘学聖愛に５－８で屈し敗退。工大一は青森山田に八回コールド負けを喫し、いずれも決勝進出を逃した。

21日は調整日。最終日は22日、同球場で決勝を行う。（取材班）

あすの試合

▽決勝【弘前はるか夢】青森山田－弘学聖愛（10・00）

高校野球特設サイトのＱＲコード

準決勝

弘学聖愛	2	0	1	1	0	1	2	1	0	8
八学光星	1	0	0	0	4	0	0	0	0	5

（弘）水木－石山

（八）北口、岩崎、大西－鈴木

▷本塁打　工藤（弘）

▷三塁打　新谷翔（八）▷二塁打　三上、成田龍（弘）佐々木（八）

▷暴投　北口（八）水木（弘）

▷試合時間＝２時間45分

（球審＝澤田、塁審＝工藤、中村、坂牛）

【評】弘学聖愛は初回１死三塁から敵失とタイムリーで２点を先制すると、その後も着実に加点。５－５で迎えた七回には工藤が勝ち越し２ランを放った。

八学光星は１－４で迎えた五回に４点を返したが、六回以降は全て三者凡退に打ち取られた。

光星・北口 精彩欠く

聖愛打線止められず

白球

「これまでにないほど、全球種を打ち込まれてしまった」。センバツ8強の八学光星はエース北口晃大が先発するも、8回途中まで投げて被安打14、8失点と炎上。相手打線の勢いを止められず、2季連続甲子園出場の夢は、はかなく散った。

弘学聖愛は昨夏の決勝で敗れた因縁の相手。その試合で北口は先発し、七回を終え1失点10奪三振と好投したが、体力が続かず無念の途中降板となった。その悔しさから下半身を徹底的に鍛え上げ、昨秋の県大会ではリベンジに成功。センバツのマウンドに立ち、一躍全国区の投手となった。

甲子園まであと2勝に迫った準決勝。初回から強力打線につかまった。低めに集めて打ち取ろうとしても、ボール球には手を出してもらえず、高く入った甘めの直球や変化球を次々と運ばれた。

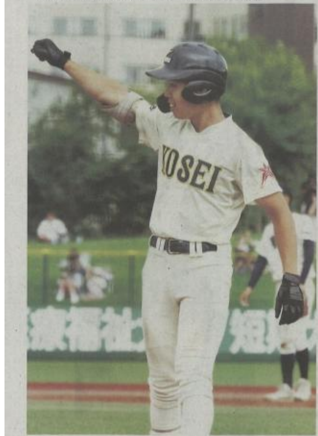
五回に味方打線がつながり5－4と逆転するも、右腕の調子は上向かない。直後の六回、先頭打者に四球を与え、同点のきっかけを許した。七回には内角に入ったスライダーを痛打されて勝ち越しの2ランを被弾するなど、チームを勝利に導いてきた抜群の安定感はもはやなかった。

北口は「四球でリズムを崩し、いいボールを投げてもはじき返されてしまい、自分のペースをつかむことができなかった」とうなだれた。

大阪から八学光星の門をたたき、1年春からベンチ入り。絶対的エースとして仲井宗基監督から全幅の信頼を寄せられてきた。「監督を甲子園に連れて行きたかった」。涙と共に、この夏に懸けた思いがあふれた。（小嶋嘉文）

【準決勝・弘学聖愛－八学光星】７回に勝ち越しの２点本塁打を浴び、苦しい表情を見せる八学光星の北口晃大＝弘前はるか夢球場

５回八学光星１死一、三塁、同点の左前適時打を放ち、ベンチに向かってガッツポーズする新谷翔磨



新谷翔 ２安打２打点

敗退に悔しさにじませ

○…2安打2打点と気を吐いた八学光星の4番新谷翔磨は「夏の甲子園は一度も経験していないので特別な思いで臨んだが、届かなかった」と無念の表情を浮かべた。

初回に2点を先制されたものの、直後の攻撃で2死一塁から中越えに適時三塁打を放って1点を返した。五回には1死一、三塁で左前に同点打。中軸の役割を果たした。

「逆転され、ずるずる最終回になった。ランナーが出れば何とかする自信はあった」と悔しさをにじませた3年生。「楽しいことも苦しいこともあったが、野球に打ち込める最高の環境を与えてくれた両親、監督、コーチ、仲間に感謝したい」と話し、高校最後の夏に別れを告げた。

工藤 会心の決勝2ラン

聖愛14安打 大一番制す

ハイライト

昨夏の王者・弘学聖愛が大一番を制した。八学光星のプロ注目右腕を攻略して14安打を浴びせ、より鮮明に強力打線を印象づけた。原田一範監督は「よく粘り強く頑張ってくれた」とナインの奮闘を高く評価した。

初回、3本の安打に足を絡めて2点を先制。三、四回にも着実に得点を重ねた。五回に4点を奪われ逆転を許したが、チームは揺らがなかった。

直後の六回、先頭打者が四球を選んで出塁したのを足掛かりに早々に同点。続く七回の攻撃にも良い流れがつながった。

1死一塁の場面。7番指名打者の工藤楓が狙っていたスライダーを完璧に捉えた。筋肉量70㌔超という鍛えた体から放たれた豪快な打球は、左翼フェンスを越える会心の2ラン。工藤は「逆転されて、むしろベンチはヒートアップしていた。ホームランを打てて気持ち良かった」と決勝の一打を振り返った。

主戦水木海志は5失点ながら、尻上がりに調子を上げて完投。勝負所の六回から九回までは三者凡退に抑え、強打者ぞろいの八学光星打線からリードを守り切った。

いよいよ次は青森山田との決勝戦。「きょう勝てたのは、ベンチでの声がいつも以上に出ていたから」と工藤。「この雰囲気をさらに盛り上げ、青森山田に挑んで勝ちたい」と夏連覇を見据えた。（中山瑞希）

【弘学聖愛】	打	安	点	振	球
⑥ 澤田	4	2	0	1	0
⑨ 三上	3	3	0	0	1
⑤ 田崎	5	0	3	0	0
⑦ 吹田	5	2	2	1	0
R7 濱江	0	0	0	0	0
⑧ 葛西	4	1	0	0	1
③ 成田龍	5	3	0	0	0
DH 工藤	5	2	3	2	0
② 石山	5	0	0	1	0
④ 田中	3	1	0	0	2

犠盗失併残
3 4 1 1 11　39 14 8 5 4

【八学光星】	打	安	点	振	球
⑦ 榮嶋	5	1	1	1	0
⑧ 仲里	2	0	0	0	1
③5 菅沼	4	1	1	1	0
⑨ 新谷翔	4	2	2	1	0
DH 新谷栞	2	0	0	0	2
④ 佐々木	3	1	1	0	0
⑤6 山入端	4	1	0	1	0
⑥ 長野	2	1	0	0	0
3 近藤	0	0	0	0	0
H 安井	1	0	0	1	0
② 鈴木	3	0	0	0	0
H 中村	1	0	0	0	0

犠盗失併残
3 0 0 0 5　31 7 5 5 3

投手	回	打	安	振	球	失
水木	9	37	7	5	3	5
北口	7⅔	41	14	4	3	8
岩崎	0/3	0	0	0	0	0
大西	1⅓	5	0	1	1	0

デーリー東北新聞社提供